



2023年6月26日

各位

会社名 アミタホールディングス株式会社
代表者 代表取締役会長兼 CVO 熊野英介
(コード番号: 2195 東証グロース)
問合せ先責任者 代表取締役社長兼 CIOO 末次貴英
TEL (075) 277-0378 (代表)

「九州発ジャパン・エボリューション・ファンド」への出資のお知らせ

当社は、2023年6月23日開催の取締役会において、JEFGP 有限責任事業組合（代表組合員:MCPアセット・マネジメント株式会社）が運営する「九州発ジャパン・エボリューション・ファンド投資事業有限責任組合」（以下、本ファンド）へ出資を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 出資の目的

当社グループは、福岡県北九州市で産業廃棄物から天然資源の代替原燃料を製造する自社製造所「北九州循環資源製造所」を運営しています。さらに福岡市には関係会社のCodo Advisory株式会社（MCPジャパンホールディングス株式会社（以下、MCPグループ）とのJV）を設け、企業の脱炭素経営を支援する事業を展開しています。九州においてビジネスを展開する当社グループにとって、本ファンドへの出資は、今後のグループの成長を促進させるものと考え、「戦略的投資」として出資を行うことといたしました。なお、本ファンドにおいて、当社は投資先企業のESG・SDGs取り組みのスクリーニングに関するアドバイザーとして、また、当社関係会社のCodo Advisory株式会社は投資先企業のグリーンウォッシュ案件の排除などに関するアドバイザーとして連携する予定です。

① 「持続可能な社会の実現」に向けた社会的インパクトへの貢献

本ファンドの投資理念は、「起業家の革新的創造への挑戦を支援し、日本から世界で戦える拡張性のある事業を持ち、ESGに優れた企業を生み出す」ことです。投資対象は主に九州・沖縄地域におけるサステナビリティ要素を含むスタートアップ企業としており、経済合理性、成長性のみを見越したファンドではなく、持続可能な社会の実現に資する投資を行うファンドであるといえます。このようなファンドに投資を行うことで当社の資産が、「持続可能な社会の実現」に向けた社会的インパクトを間接的にもたらすと考えています。

② MCPグループとの連携強化

当社はMCPグループと合弁で、企業の脱炭素経営の移行戦略の立案支援及びアセスメントを行うCodo Advisory株式会社を設立しています。本ファンドへの出資により、MCPグループと一層の連携強化を図ることができると考えています。

③ 投資先企業とのシナジー効果

本ファンドの投資先は、気候変動や脱炭素などに対応できる環境技術やSDGsを基準とする社会的課題解決に資する技術・サービスなどを有する企業であるため、当社グループとの事業連携等のシナジーを見込んでおります。

2. 九州発ジャパン・エボリューション・ファンド投資事業有限責任組合の概要

名称	九州発ジャパン・エボリューション・ファンド投資事業有限責任組合	
所在地	東京都千代田区大手町一丁目8番1号	
設立根拠等	投資事業有限責任組合契約に関する法律	
組成目的	起業家の革新的創造への挑戦を支援し、日本から世界で戦える拡張性のある事業を持ち、ESGに優れた企業の創出	
組成日	2023年3月17日	
目標出資総額	50億円	
業務執行組合員の概要 (無限責任組合員)	名称	JEFGP 有限責任事業組合
	所在地	東京都千代田区大手町一丁目8番1号
	主たる組合員	MCP アセット・マネジメント株式会社
	事業内容	本ファンドの管理・運営
当社と本ファンド及び 業務執行組合員との関係	当社と本ファンド との関係	当社は本ファンドへ出資します。
	当社と業務執行組 合員との関係	当社と当該組合員との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。
運用期間	10年間（最大で2年間延長可能）	
投資対象	九州・沖縄に本拠地又は事業基盤を有し、サステナビリティ要素を含む主にミドルステージのスタートアップ企業及び将来的に九州・沖縄地域で事業を展開させる意向のある企業	

3. 出資額

100,000,000円

4. 業績に与える影響

本件が当社の業績及び財務状況に与える影響は軽微です。

以上

■参考

MCPグループによる本ファンドに関するお知らせ：[九州発ジャパン・エボリューション・ファンドの設立に関して](#)

本ファンドのWebサイト：[MCP Japan Evolution Fund](#)